

藝術と技術の対話 (DAT) プロジェクトメンバー 募集要項



札幌・ニューヨークで展覧会をつくり上げる「DATプロジェクトメンバー」を募集

- ・応募受付期間 2026年2月22日(日)～2026年3月15日(日) (日本時間) 【必着】
- ・提出書類 応募フォーム入力 + 調査課題(作文) + ポートフォリオ等
- ・採択人数 15名程度

「藝術と技術の対話(DAT)」は、メディアアートやデジタルアート等のアート&テクノロジー分野の専門家を育成を目的としたプロジェクトです。2025年11月から広く一般を対象とした講座シリーズを実施してきましたが、2026年5月から札幌およびニューヨークでの展覧会をつくり出す新たな教育プログラムを開始します。

同分野に課題意識と意欲をもち、ワークショップ(ブートキャンプ)、研究会、ワーキングツアー等のカリキュラムへの参加を通して、展覧会をともに作り上げる「DATプロジェクトメンバー」を募集します。

本プログラムは、現在起こっている社会の様々な行き詰まりを課題意識としています。ここで課題となるのは、西洋由来の近代というパラダイムを十分に知ることと、同時にそこからの離脱の可能性を探ることです。DATでは、これらを「藝術と技術、西と東の相対化」として掲げています。展覧会は、その実践として「コンセプトの開発能力」(=言語的ロジック)と、体験を通じて対話の場を創出するための「展覧会の策定能力」(=視覚・体験的ロジック)両方の開発を行うものと位置付けています。

DATでは、キュレーターに限らず、アーティスト、研究者、プロデューサー、技術者等が協働し、このような新たな展覧会のあり方に挑戦します。

選考を経て採択された「DATプロジェクトメンバー」は、交通費等の提供支援を受け、各カリキュラムに参加します。分野や専門性を横断した協働と、現地での活動を通じた国際的なネットワークを構築しながら、アート&テクノロジー分野の新たな地平を切り拓きます。

このプロジェクトは、2027年1月に札幌、その後ニューヨークで展覧会を開催するという狂った企画です。1つ目の展示が、札幌に設定されているのは、札幌には古代と西洋近代が直接にぶつかった痕跡がまだ残っていること、さらにモエレ沼公園で開催することで、近代テクノロジーとアメリカ文化の受容についても論じることができるからです。

展覧会では「風土」という概念を中心に据えますが、その具体的な切り口として「窓」に焦点をあてていきます。窓は近代テクノロジーの象徴的な事物であり、アイコンであり、また乗り越えるべき対象であるとも言えるでしょう。ここから、プロジェクトメンバーとともに、さらに深い調査と概念構築、交渉から設計、運搬とインストールを経て現地での展示を実現し、最後にドキュメントを残します。

より詳しくは募集説明会を御覧ください。

藤幡正樹(メディアアーティスト/DATエグゼクティブ・ディレクター)

主催・企画制作：株式会社イッカク

助成：文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等支援事業(育成プログラム構築・実践)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



本プログラムに関するお問い合わせ

藝術と技術の対話(DAT)事務局(株式会社イッカク内) hello@dat.1kc.jp

lkkac

1. カリキュラム概要

DATのエグゼクティブディレクターやプロデューサー、メンターに加え、各カリキュラムでは多様な専門家・実践者・研究者が講師として参加する予定です。グループワークや現地研修、専門機関等への視察の機会も設けています。

(1) 実施概要

① ブートキャンプ

展覧会の策定に必要な講義に加え、コンセプトの構築や出品計画等を立案するためのグループワークを集中的に行います。

会期：2026年5月2日(土)～5月5日(火)

実施会場：山口情報芸術センター [YCAM]

② 定期的な研究会 (オンライン含む)

ブートキャンプでの立案内容をもとに、展覧会の具体化に向けた調査研究、ディスカッション、打ち合わせ等を継続的に行います。

③ ワーキングツアー

現地での事前研修として、展覧会会場の下見や試験設営、専門機関の視察、関係者とのネットワーキング等を行います。【札幌】2026年8月を予定 / 【ニューヨーク】2026年10月を予定

④ 展覧会

「DATプロジェクトメンバー」は、下記いずれかの展覧会に取り組みます。

【札幌】 札幌国際芸術祭2027と連携し、モエレ沼公園を会場・コンセプトとした展覧会を開催予定。

会期：2027年1月16日(土)～2月21日(日)

【ニューヨーク】 ブルックリン実験アート財団 (BEAF) と連携し、現地の大学やアートセンター等と協働した、展示・トーク・交流イベントを一体的に展開する展覧会を開催予定。

会期：2027年10月頃(予定)

※上記のほか、展覧会の準備に伴い、出品者や関係機関との打ち合わせ、必要に応じたリサーチ、テキスト執筆、関連イベントへの参加・登壇等を行う場合があります。

(2) DATプロジェクトメンバーへの提供支援

本カリキュラムの参加費は無料です。

また、参加に要する以下の費用については、主催者が負担し、必要に応じて現金支給または現物支給(手配)を行います。なお、支給方法および金額は主催者の規定に基づき決定します。

- ・カリキュラム実施地への交通費および滞在費(主催者による手配または実費支給)
- ・上記滞在に伴う日当(規定に基づき支給)
- ・その他、プロジェクトの活動にあたり必要となる経費(内容に応じて支給または現物提供)

2. 応募対象者

アート&テクノロジー分野に関心をもつプロデューサー、キュレーター、コーディネーター、アーティスト、研究者等を広く募集します。

3. 応募・参加に必要な条件

(1) 応募者の要件

以下のすべての条件を満たす方を対象とします。

- ・原則として日本国籍または日本国の永住権を有する方、もしくは2026年5月から2028年3月までの期間中に日本国内に在住し、対面でプログラムに参加できる方
- ・応募時点で満18歳以上の方

(2) 参加の要件

採択者は、上記1.(1)に記載されたカリキュラムを含む、以下の活動への参加が求められます。

- ・【必須】2026年5月2日(土)～5月5日(火)に開催するブートキャンプに参加できること
- ・2026年5月から2028年3月までの一定期間に実施されるカリキュラム(定期的な研究会やワーキングツアー、展覧会等)に、可能な限り優先して参加すること

4. 応募方法

(1) 応募方法

DATウェブサイトより、応募フォームにアクセスの上、下記の【フォーム記載事項】を入力し、【添付】情報をアップロードしてください。

応募フォーム：<https://forms.gle/vgxkzkNx9fHezdes9>

※応募フォームへのアクセスは、Google アカウントへのログインが必要です。

※応募は電子データでのみ受け付けます。郵送での応募は受け付けておりません。

(2) 応募書類

【フォーム記載事項】

- ・応募者基本情報（氏名、年齢、居住地、連絡先、職業、所属先等）
- ・応募者の活動状況（専門分野・領域、語学レベル等）
- ・DATに参加を希望する理由や期待すること（400文字以内）
- ・実績を紹介する資料いずれか1点以上（ポートフォリオ、職務経歴書、映像資料、ウェブサイト等）の URL
※資料は、Google Drive、Dropbox等のファイル共有サービス、もしくは自身のウェブサイト等にアップロードし、URLを記載してください。

【添付】

- ・調査課題の作文2本（A4判縦・横書き・PDF形式で提出）※課題内容は下記（3）参照

(3) 調査課題（作文）

以下の区分「A・B・C」から2つの区分を選び、各区分から1問ずつ選択のうえ、合計2本の作文を提出してください。各作文は1000～2000字程度とします。

課題文のみでは制約条件が不明確な場合は、必要に応じて自ら条件を設定し、その前提を明示したうえで論述してください。

[区分A]

- 1：「テクノロジーは人間の生活を豊かにしてきました。」という言説を覆す論理を組み立ててください。
- 2：社会主義国、共産主義国にアーティストが少ないのは、こういった理由でしょうか？実例を挙げながら、理由を説明してください。
- 3：「アートは人間の生活に潤いを与える。」という言説にとって「潤い」とはどういう事を指しているのでしょうか？また、潤うとどうなるのでしょうか？

[区分B]

- 1：「日本の城」を空から記録した動画像（一般公開可能な映像素材）が、必要になりました。どうやって実現しますか？考えられる選択肢をできるだけいろいろ上げてください。
- 2：気象情報を集めて可視化するシステムを作るとしたら、あなたならどのようなシステムにしますか？データの取得方法、可視化方法、表示方法のデザインなど、いろいろな可能性を検討してください。予算はおおよそ300万程度でお願いします。
- 3：日本からニューヨークに作品を送ります。クレートサイズ50x80x100cm、重さが60Kgほどあります。中にはPCを含む情報機器が入っています。期日までに確実に、かつできるだけ安く、安全に届ける方法を数種類挙げてください。引取場所は都内23区内、通関費用等も含んだ予算を出してください。

[区分C]

- 1：あなたが展示のオーガナイズをしているとして、「展示会の会場の床を1cmほどの浅い水で満たしたい」とアーティストが言いましたが、予定している会場側は規則でそれはできないと言ってきました。あなたならどのようにアーティストに説明しますか？
- 2：あなたがアーティストだとして、「展示会の会場の床を1cmほどの浅い水で満たしたい」と展示のオーガナイザーにお願いしたとします。彼（または彼女）からは、「会場の規則でそれはできない」という連絡が来ました。どのように対応しますか？
- 3：スポーツでは「達成感」が称賛の対象になりますが、アートにおける「達成感」とは何にあたるのでしょうか？

(4) 応募受付期間

2026年2月22日（日）～2026年3月15日（日）必着 ※日本時間

5. 選考方法・スケジュール

(1) 選考方法

- ・提出書類をもとに有識者等による書類審査（一次選考）を行い、通過者を選出します。
- ・面接（二次選考）を経て採択者を決定します。

(2) 採択人数

15名程度

(3) 選考スケジュール（予定）

- ・一次選考結果通知： 2026年3月下旬
- ・二次選考（面接）： 2026年3月28日（土）・3月29日（日）・4月3日（金）・4月4日（土）・4月5日（日）のいずれかの日程で実施（オンライン）
- ・二次選考結果通知： 2026年4月上旬
- ・採択者説明会： 2026年4月下旬

6. プログラム参加にあたっての留意事項

- ・プロジェクトメンバーの採択後、本プログラムの説明およびメンバー間の紹介を目的とした「採択者説明会」（上記5.(3))の実施を予定しています。
- ・本プログラムへの参加にあたり、プロジェクトメンバーと主催者との間で契約を締結します。
- ・本プログラムへの参加に際し、所属機関等への依頼書面や証明書類等の提出が必要な場合は、内容を協議のうえ発行します。
- ・DATでは、本プログラムに参加し、講師および参加者間でコンセプトを議論するための基礎知識として講座シリーズを実施しています。<https://www.dat.1kc.jp/lecture>
- ・2月22日に開催した募集説明会の記録映像を公開しています。
<https://www.youtube.com/live/q8shieclo4M?si=Tfj2lpMcZYN5HIAX>

7. 個人情報の取扱い

応募書類に記載された個人情報は、以下の利用目的の範囲内でのみ利用させていただきます。また、下記の目的以外に利用する必要が生じた場合は、事前に本人の同意を得た上で利用します。

- ・選考結果の通知
- ・申請書類の確認に要する連絡
- ・本プロジェクトに関する統計分析